

2004年度事業報告

2 0 0 5 年 3 月

財団法人 日中医学協会

目 次

事業報告の部

I. 研究助成事業	
1. 日中笹川医学研究者制度	
1) 第27期研究者の受け入れ	1
2) 第13期特別研究者の受け入れ	1
3) 第28期研究者に対する語学研修	2
4) 三者協議	2
5) 衛生部研究者視察団の招請	2
6) 日本側推薦の実施	3
7) 中国医学研究者委員、特別研究者選考委員、制度検討委員の委嘱	3
8) 会議開催	3
9) 同学会活動に対する協力	4
10) その他	4
2. 共同研究助成事業	
(1) 2004年度助成	5
1) 調査・共同研究助成	5
2) 中国人研究者招聘助成	5
3) 日本人研究者派遣助成	5
4) 在留中国人研究者研究助成	5
(2) 2005年度募集	6
(3) 委員会の開催	7
3. 金原記念日中医学交流基金による研究助成	7
II. 学術会議開催	
1. 主催事業	7
2. 共催・後援事業	7
III. 日中医療保健協力	
1. 中日友好医院に対する協力	7
2. 日中大腸抗癌治療研究会に対する協力	8
3. 「中医美容と健康」研究プロジェクト	8
4. 学術交流に対する協力	8
IV. 広報事業	
1. 機関誌「日中医学」の発行	9
2. 「News Letter」の発行	9
3. ホームページの拡充	9
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	9
5. 記念誌「日中医学協会20周年誌」の編集	9
6. 委員会の開催	9
V. 事業基盤の強化・拡充	
1. 「日中笹川医学研究者制度の18年」	10

総務報告の部

I. 役員の選任について	
1. 理事の選任	11
2. 評議員の選出	11
3. 名誉会員の退任	11
II. 会員拡大と募金活動について	
1. 会員数の推移	11
2. 募金活動	11
III. 協会運営に係る事項	
1. 理事会・評議員会の開催	12
2. 常任理事会の開催	12
3. 各運営委員会細則の決定	12
4. 各運営委員の委嘱	13
5. 日本財団の補助金について	13
6. 特定公益増進法人について	13
付 表	
日中笹川医学研究者助成制度第27期研究者名簿	14
日中笹川医学研究者助成制度第13期特別研究者名簿	15
運営委員会規程・各委員会細則	16
監査報告書	20

事業報告の部

I. 研究助成事業

1. 日中笹川医学研究者制度

1996年8月14日、日中医学協会岡本道雄会長、笹川記念保健協力財団日野原重明理事長、中国衛生部殷大奎副部長により調印された「笹川医学奨学金制度」第2次10年計画による1000名の中国医学研究者の招聘事業が、日本財団の助成により実現した。

その第七陣として、2004年4月から1年間、27期研究者79名と第13期特別研究者18名の受入事業を行った。

1) 第27期研究者の受け入れ

①入 国

2004年4月6日(火) 78名来日

1名は4月18日来日

2004年4月7日(水) 歓迎式典・オリエンテーション

2004年4月8日(木) 研究地へ移動

(名簿後掲)

②帰 国

2005年3月28日(月) 研究修了式

2005年3月30日(水) 76名帰国

(北京51名、上海25名)

※早期帰国：3名、滞在延長：0名

③第17回箱根セミナー

日 時：2004年11月19日(金)～21日(日)

場 所：ホテル箱根アカデミー

参加者：研究者 77名

連絡員 1名

衛生部視察団・役職員 31名

概 要：20日のセミナーでは、日野原会長、森岡理事長の挨拶の後、黄潔夫衛生部副部長の挨拶、笹川陽平日本財団理事長の講演に続いて「より良い研究生生活を送るために」をテーマに、安達常任理

事が進行。9月に実施した第27期研究者へのアンケートをもとに、日本での研究状況、生活状況について出席の役員・委員を交え討論が行われた。

④外国医師・外国歯科医師臨床修練取得状況 (厚生労働省医政局医事課試験免許室審査)

・2004年9月7日許可 20名

陸 華保 医師 東北大学医学部附属病院

陳 虹 医師 千葉県がんセンター

俞 芳 歯科医師 東京歯科大学千葉病院

李 智勇 歯科医師 東京歯科大学千葉病院

李 鉄軍 医師 日本医科大学付属病院

項 燦宏 医師 東京大学医学部附属病院

劉 偉 医師 東京医科大学病院

張 瑋 医師 東京女子医科大学病院

郭 彦君 医師 国立がんセンター中央病院

施 学東 医師 癌研究会附属病院

李 唐新 歯科医師 日本歯科大学

新潟歯学部附属病院

卞 傑勇 医師 藤田保健衛生大学病院

高 曉慧 医師 大阪市立大学医学部附属病院

湯 地 医師 大阪大学医学部附属病院

劉 洪波 医師 大阪大学医学部附属病院

陳 昕 医師 国立循環器病センター

殷 猛 医師 国立循環器病センター

周 璿 歯科医師 高知大学医学部附属病院

何 新颯 医師 福岡大学医学部附属病院

朱 芳 医師 鹿児島大学病院

・2004年10月14日許可 1名

金 鋼 医師 杏林大学医学部附属病院

・2004年12月20日許可 2名

呉 永友 医師 癌研究会附属病院

徐 冰 医師 京都府立医科大学附属病院

2) 第13期特別研究者の受け入れ

①入 国

2004年4月6日(火) 18名来日

当初、19名が来日予定であった。1名が病気治療のため来日を延期したが、症状が改善せず、来日資格を取り消した。

2004年4月7日(水) 歓迎式典・オリエンテーション

2004年4月8日(木) 研究地へ移動
(名簿後掲)

②研究報告会・研究修了式

日時：2005年3月18日(金) 11:30～19:00

場所：日本財団ビル 2階大会議室A

出席者：役員・委員・指導責任者等 42名
特別研究者 18名

概要：平田温理事を座長に、1年間の研究成果を発表した。研究修了式では森岡恭彦理事長から研究者全員に研究修了証を授与し、懇親会では笹川陽平日本財団理事長らと交え懇談した。

3) 第28期研究者に対する語学研修

A. 語学研修

期間：2004年9月1日(水)～
2005年1月28日(金)

開催地：衛生部吉林大学日語培训中心

衛生部中国医科大学日語培训中心

受講者：76名(吉林大60名、中国医大16名)

講師：春日由里(新宿日本語学校専任講師)等
6名を派遣。

(吉林大学4名、中国医科大学2名)

概要：5か月にわたる語学研修を、吉林大学、中国医科大学の2校で実施した。吉林大学では、日本語初心者に対し5か月の日本語研修を、中国医科大学では日本語既習者に対し、英語・日本語研修をそれぞれ2か月半実施した。

B. 医学・事前オリエンテーション

・医学オリエンテーション

実施日：2004年11月29日(月)(中国医科大学)
2004年12月1日(水)(吉林大学)

講師：林謙治 国立保健医療科学院次長

備考：日本の医療制度、医学教育制度、日本で研究、研修する上で注意すべき点について。

・事前オリエンテーション

実施日：2004年11月30日(火)(中国医科大学)
2004年12月2日(木)(吉林大学)

備考：来日後の研究・生活に関して事務局が行った。

C. 作文試験・面接試験

・吉林大学

実施日：2005年1月24日(月)～25日(火)

面接官：酒谷 薫 常任理事
平田 温 理事

・中国医科大学

実施日：2003年1月27日(木)

面接官：酒谷 薫 常任理事
平田 温 理事

備考：77名(衛生部連絡員を含む)全員が合格した。

4) 三者協議

日時：2004年11月17日(水) 15:00～18:00

場所：京王プラザホテル内コメント

出席者：

衛生部 黄潔夫、祁国明、尹力、許樹強、
查徳忠、劉勇

協会 森岡恭彦、安達勇、出月康夫、
杉本恒明、山本敏行、比留間聡、
磯野真知子

笹川 紀伊國献三、鈴木道生、榎 洽子
通訳 李想、植田 臻

議題：

- ①特別研究者の応募者数が少ない問題
- ②第30期研究者が特別研究者に申請できない問題
- ③研究者の欠員問題について
- ④本制度終了後のプロジェクトについて
- ⑤研究者の研究先選定に関する問題
- ⑥同学会に関する問題

5) 衛生部研究者視察団の招請

期間：2004年11月15日(月)～21日(日)

概要：第27期研究者・第13期特別研究者の状況視察、受入機関との交流を深めるた

め来日した。

滞在期間中、(財)癌研究会附属病院を視察したほか、三者会議、協会主催の講演会に出席した。

構成：黄 潔夫 衛生部副部長
祁 国明 衛生部科技教育司司長
尹 力 衛生部国際合作司司長
許 樹強 中日友好医院院長
查 徳忠 国家中医薬管理局弁公室副主任
劉 勇 衛生部弁公庁秘書
李 想 通訳

6) 日本側推薦の実施

2004年5月1日～6月30日に日本側推薦者の募集を行い、応募者11名の中から4名と補欠1名を選抜、2006年4月に来日する第29期研究者として衛生部に推薦し、LPT試験を受験させた。

5名のうちLPT試験合格者は4名であった。数名が29期研究者として来日予定。

7) 中国医学研究者委員、特別研究者選考委員、

日中笹川医学研究者制度検討委員の委嘱

任期：2004年9月1日～2006年3月31日

① 中国医学研究者委員

委員長：

出月康夫 南千住病院名誉院長

副委員長：

田平 武 国立長寿医療センター研究所所長

委員：

稲葉 裕 順天堂大学医学部衛生学教授

加我君孝 東京大学大学院医学系研究科
感覚・運動機能医学教授

金井 淳 順天堂大学医学部附属
順天堂東京江東高齢者医療センター副院長

河野信博 介護老人保健施設プルミエール施設長

濃沼信夫 東北大学大学院医学系研究科社会医学教授

齋藤昌三 杏林大学名誉教授

柴田 実 新潟大学大学院
医歯学総合研究科形成外科学教授

根本則道 日本大学医学部病理学主任教授

橋本敬太郎 山梨大学大学院

医学工学総合研究部薬理学教授

花岡一雄 東京大学大学院
医学系研究科生体管理医学教授

日暮 眞 東京家政大学小児医学教授

御子柴克彦 東京大学医科学研究所
基礎医学大部門教授

宮村達男 国立感染症研究所ウイルス第二部部長

門間和夫 東京女子医科大学名誉教授

山西弘一 大阪大学大学院医学系研究科微生物学教授

家森幸男 WHO国際共同研究センターセンター長

吉村泰典 慶應義塾大学医学部産婦人科学教授

小野瀬英雄 日本大学総合科学研究所教授

荻原幸夫 名城大学薬学部教授

高橋美智 日本看護協会出版会取締役副社長

② 特別研究者選考委員

委員長：

山本敏行 良陵医学振興会理事長

副委員長：

武藤徹一郎 癌研究会附属病院院長

委員：

高松 研 東邦大学医学部第2生理学教授

中澤 誠 東京女子医科大学附属
日本心臓血圧研究所循環器小児科学教授

平田 温 秋田組合総合病院診療部部長

道 健一 昭和大学歯学部名誉教授

渡邊裕司 富山医科薬科大学理事

岡谷恵子 日本看護協会専務理事

③ 日中笹川医学研究者制度検討委員

委員長：

杉本恒明 公立学校共済組合関東中央病院名誉院長

副委員長：

出月康夫 南千住病院名誉院長

委員：

池谷田鶴子 順天堂大学医学部非常勤講師

平田 温 秋田組合総合病院診療部部長

山本敏行 良陵医学振興会理事長

荻原幸夫 名城大学薬学部教授

道 健一 昭和大学歯学部名誉教授

8) 会議開催

- ・ 第 3 回日中笹川医学研究者制度検討委員会
日 時：2004年5月20日(木) 17:00～19:30
場 所：学士会館306号室
出席者：委員長他委員 6 名、担当常任理事 2 名
議 題：「日中笹川医学研究者制度の18年」の発行について
- ・ 第19回中国医学研究者委員会
日 時：2004年 7 月12日(月) 17:30～21:00
場 所：学士会館302号室
出席者：委員長他委員15名、担当常任理事 2 名
議 題：第28期研究者の選考と研究先の選定
- ・ 第 4 回日中笹川医学研究者制度検討委員会
日 時：2004年 9 月27日(月) 18:30～20:30
場 所：学士会館301号室
出席者：委員長他委員 7 名、担当常任理事 1 名
議 題：「日中笹川医学研究者制度の18年」の発行について
- ・ 第14回特別研究者選考委員会
日 時：2004年10月29日(金) 17:30～20:00
場 所：学士会館306号室
出席者：委員長他委員 6 名、担当常任理事 3 名
議 題：第14期特別研究者の選考
委員長・副委員長の選出
- ・ 特別研究者の募集と選考検討会議
日 時：2005年 2 月25日(金) 18:00～20:00
場 所：学士会館309号室
出席者：各委員会委員長 2 名、担当常任理事 3 名
議 題：申請資格の緩和と招請期間変更に伴う募集と選考の方法
- ・ 第 5 回日中笹川医学研究者制度検討委員会
日 時：2005年 3 月 8 日(火) 18:00～20:30
場 所：学士会館302号室

9) 同学会活動に対する協力

- ・ 笹川医学奨学金進修生同学会内科学術交流会
日 時：2005年 1 月 8 日(土)
開催地：安徽省合肥市(合肥ホリデイ・イン)
特別講演：
矢崎義雄 国立病院機構理事長
「21世紀の医学医療」
日本から協会、笹川財団、日本財団の役員並びに指導責任者ら28名が参加、中国側は同学会員、衛生部関係者ら100名が参加した。11名の研究者が研究成果を発表、討論も活発に行われ、充実した学術交流会となった。

10) その他

- ・ 中国大使館科学技術部との懇談
日 時：6 月22日(火) 18:00～21:00
場 所：山の上ホテル
出 席：
在日本中華人民共和国大使館：
葉 冬柏 参事官
朴 明哲 一等書記官
笹川記念保健協力財団：
紀伊國猷三 理事長
日中医学協会：
森岡恭彦 理事長
杉本恒明 日中笹川医学研究者制度検討委員会
委員長
出月康夫 日中笹川医学研究者制度検討委員会
副委員長
阿部淑子 アドバイサー
テーマ：日中笹川医学研究者制度の現状と将来
について
- ・ 衛生部国際合作司との懇談
日 時：8 月24日(火) 10:00～12:00
場 所：北京 衛生部108会議室
テーマ：日中笹川医学研究者制度の評価と将来

について

出席：

国際合作司：

尹 力 司長

葛 麗軍 双边関係処長

李 彦兵 双边関係処官員

科技教育司：

于 修成 技術評価与推進処長

日中医学協会：

森岡恭彦 理事長

杉本恒明 常任理事・日中笹川医学研究者制度
検討委員会委員長

安達 勇 常任理事

阿部淑子 アドバイサー

比留間聡 事務局長

2. 共同研究等助成事業

(1)2004年度助成

1996年度以降、本事業は日本財団の助成金を受けて実施。2004年度は110件の応募申請の中から、運営委員会の選考により4区分27件に助成した。

1)調査・共同研究助成

①日本-中国における悪性リンパ腫の細胞遺伝学的比較研究

瀬戸加大 愛知県がんセンター
遺伝子医療研究部・部長

張 曉華 延安大学医学院病理部・講師

②雲南省における少数民族および流動人口のエイズに関する知識、態度、行動に関する調査

松葉 剛 順天堂大学医学部衛生学教室・助手

梁 志松 雲南省第一人民医院科学教育処・副処長

③感染病原体付着抑制物質の調査研究

伊藤博夫 鹿児島大学大学院
医歯学総合研究科・助教授

魏 睦新 南京医科大学
第一附属病院中医科・主任教授

④砂ネズミの海馬脳虚血モデルを用いた漢方薬の治療効果

加藤宏司 山形大学医学部器官機能統御学講座
神経機能統御学分野・教授

李 建民 華北煤炭医学院附属病院脳神経外科・教授

⑤中国における慢性膵炎の症例調査とその遺伝的背景ならびに食習慣に関する研究

成瀬 達 名古屋大学大学院
医学研究科病態修復内科学・助教授

金 春茵 吉林大学白求恩医学部
第二臨床病院電診科・教授

⑥冠動脈造影、血管内超音波を用いた至適なDrug-eluting stent留置方法の検討

片岡 亨 大阪市立大学大学院医学研究科
循環器病態内科学・前期研究医

朱 毅 華東病院心内科・副主任

⑦幹細胞システムを用いた神経幹細胞の分化・同定・分離および再生医療への応用方法の確立

梨井 康 国立成育医療センター研究所
移植免疫研究室・室長

陳 乃宏 中国医学科学院
協和医科大学薬物研究所・教授

⑧機能性生体用チタン合金の開発と歯科臨床への実用化

若林則幸 東京医科歯科大学歯学部附属病院・助手

姜 亭 北京大学口腔医学院修復科・助教授

⑨歯周病と全身疾患の関連性に関する調査研究

米田栄吉 東北大学大学院
歯学研究科総合歯科診療部・教授

孫 逸超 四平市中心医院口腔科主治医師

⑩中国の慢性ヒ素汚染地域における中毒症状の個体差とヒ素体外排泄遺伝子多型との関係

熊谷嘉人 筑波大学社会医学系・教授

孫 貴範 中国医科大学公衆衛生院・院長

2)中国人研究者招聘助成

①楚 立 河北医科大学基礎医学院薬理学教室

テーマ：心筋細胞エンドセリン受容体を介する
情報伝達機構の解析

招請者：遠藤政夫 山形大学医学部・教授

②馮 璞 清華大学玉泉病院内科・総副主任

テーマ：パーキンソン病における深部脳刺激療法
に関する臨床研究

招請者：片山容一 日本大学医学部脳神経外科・教授

3) 日本人研究者派遣助成

- ①竹内登美子 岐阜大学医学部看護学科
成人・老年看護学講座教授
招請者：王 辰 首都医科大学
附属北京朝陽病院病・院長
テーマ：Evidence Based Nursingに基づいた呼吸
理学療法

4) 在留中国人研究者研究助成

- ①盧 山 中日友好医院検査部住院医師
テーマ：血小板上コラーゲン受容体を介する活
性化経路
指導者：尾崎由基男 山梨大学医学部
臨床検査医学講座教授
- ②曹 雪源 河北省職工医学院附属病院腫瘍外科医師
テーマ：ヘリコバクターピロリ菌感染スナネズ
ミ胃癌がんモデルにおける β -catenin
遺伝子変異
指導者：立松正衛 愛知県がんセンター
研究所腫瘍病理学部部长
- ③王 曉宏 中国医科大学附属第一医院神経内科医師
テーマ：痛覚刺激に対する脳反応の睡眠中の変
化
指導者：柿木隆介 総合研究大学院大学
生理科学専攻教授
- ④趙 旭 中国医科大学附属第二臨床学院産婦人科講師
テーマ：胚性幹細胞由来下垂体細胞の分化およ
び細胞生物学的解析
指導者：佐々木克典 信州大学医学部
組織発生学講座教授
- ⑤王 静文 開蘭範各莊鉅病院内科医師
テーマ：中国人の肺腺がんの感受性とGSTZ1遺伝
子多型の関連
指導者：徳留信寛 名古屋市立大学大学院医学研究科
健康増進・予防医学教授
- ⑥張 海濤 長治市第二人民医院急診科医師
テーマ 日本と中国の救急医療体制の比較
指導者：黒川 顕 日本医科大学
附属第二病院救命救急部教授
- ⑦譚 新 西安交通大学医学部第一附属病院精神科
テーマ：ヒト睡眠生体リズム障害の病態と治療
予防法開発に関する基盤研究

- 指導者：内山 真 国立精神・神経センター
精神保健研究所精神生理部部长
- ⑧秦 穎潔 承德医学院附属病院老年病科講師
テーマ：コロニー刺激因子(G-CSF)における心筋
梗塞の治療効果の検討
指導者：小室一成 千葉大学大学院医学薬学教育部
循環病態医科学教授
- ⑨瀋 宣超 ハルビン医科大学附属第二病院外科住院医師
テーマ：生体肝移植における免疫寛容の基礎と
臨床の検討：anti-ICOS antibody inhib-
ited the recall response of long-term
accepted heart following skin grafting
指導者：幕内雅敏 東京大学医学部附属病院
肝胆膵外科人工臓器移植外科主任教授
- ⑩谷 麗君 大連医科大学附属第一病院産科婦人科助教授
テーマ：cDNAアレイ技術を用いた卵巣癌細胞の
浸潤、転移機構に係わる新規遺伝子異
常の同定
指導者：大濱紘三 広島大学大学院
医歯薬学総合研究科産科婦人科教授
- ⑪谷 文光 哈爾濱医科大学第一附属病院整形外科助手
テーマ：悪性線維性組織球腫における新しい細
胞株の樹立と遺伝子異常の検索
指導者：遠藤直人 新潟大学大学院
医歯学総合研究科整形外科教授
- ⑫呂 剛 華中科技大学同濟医学院
協和病院産婦人科助教授
テーマ：卵巣局所でのIL-6の変動と黄体退行機
構の解明について
指導者：牧野田知 金沢医科大学産科婦人科学教授
- ⑬韓 娟 天津市口腔医院口腔顔面外科主治医師
テーマ：マウス口唇裂、唇顎口蓋裂発症に関す
る染色体領域と候補遺伝子の特定
指導者：前田隆秀 日本大学松戸歯学部
小児歯科学講座教授
- ⑭佟 曉波 承德医学院生理学教室講師
テーマ：ヒト細胞におけるシャペロンHSP27と相
互作用する分子の検索
指導者：鈴木 信夫 千葉大学大学院医学研究院
環境影響生化学教室教授

(2)2005年度募集

1)募集区分・件数()内は応募件数

- ①調査・共同研究 7件 (58件)
- ②中国人研究者招聘助成 3件 (4件)
- ③日本人研究者派遣助成 2件 (3件)
- ④在留中国人研究者研究助成 15件 (47件)

2)募集期間

2004年10月1日～12月31日

3)広報媒体

「日中医学」および協会ホームページ、「NEWS LETTER」、学会雑誌、専門誌等

(3)委員会の開催

・共同研究等助成事業委員会

日時：2005年3月11日(金) 17:30～20:00

場所：学士会館306号室

出席者：委員長他20名(委任出席12名) 担当常任理事1名

議題：・2005年度助成対象者の選考

・2006年度助成金事業について

3. 金原記念日中医学交流基金による研究助成

1985年公益信託として設立された本基金に、協会は募集業務の面で協力してきた。2月23日開催の公益信託「金原記念日中医学交流基金」運営委員会において、2004年度4名の助成を決定した。

①朱 禹赫 北海道大学大学院歯学研究科大学院生

テーマ：カーボンナノチューブ焼結体による骨類似インプラント材料の開発

指導者：亙理文夫 教授

②張 吉天 京都大学大学院医学研究科

呼吸器外科専攻大学院生

テーマ：心停止ドナー肺移植の実現を目指した吸入抗酸化物質による肺虚血再灌流傷害の制御

指導者：和田洋巳 教授

③宋京海 大阪大学大学院医学系研究科

臓器制御外科大学院生

テーマ：腸管機能不全に対する小腸移植における

るGVHD制御に関する実験的検討

指導者：伊藤壽記 教授

④朴英実 金沢大学大学院医学系研究科

環境医科学分子情報薬理学大学院生

テーマ：動脈硬化症の発症と予防の分子基盤に関する研究

指導者：吉本谷博 教授

II. 学術会議開催

1. 主催事業

①中国衛生部黄潔夫副部長講演会

開催日：2004年11月18日(木) 18:00～19:00

場所：学士会館320号室

テーマ：「中国の病院の現況と未来」

2. 共催・後援事業

①第2回日中薬理・臨床薬理Joint Meeting

開催日：2004年9月19日(金)～8日(日)

開催地：静岡市

実行委員長：大橋京一浜松医科大学教授

参加者：中国側：60名、日本側：40名

②第18回医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2004年8月6日(金)～8日(日)

開催地：三重郡菟野町

主催：日本TCM研究所、カネボウ薬品株式会社

後援：日中医学協会、天津中医学院

参加者：医学生：30名、講師：14名

III. 日中医療保健協力

1. 中日友好医院に対する協力

1) 専門家派遣事業

中日友好医院の要望に基づき、診療水準の向上、若手養成に協力する事業として1993年度以来実施している。

2004年度は3名の専門家を派遣した。

①大北 裕 神戸大学大学院医学系研究科
呼吸循環器外科学教授

期 間：2004年11月27日(土)～12月4日(土)

テーマ：心臓手術

②川淵孝一 東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科医療経済学教授

期 間：2005年1月4日(火)～7日(金)

テーマ：病院マネジメント

③辻 省次 東京大学医学部附属病院神経内科教授

期 間：2005年3月14日(月)～18日(金)

テーマ：神経内科に関する講演並びに神経変性
疾患患者の診断指導、検討

2) 中日友好医院院長の来日

期 間：2004年7月23日(金)～8月1日(日)

訪日者：許 樹強 中日友好医院院長

尹 勇鉄 中日友好医院外事処長

概 要：協会は、友好医院の依頼を受け、国立
医療センター、東京大学医学部附属病
院の表敬訪問を手配。

3) 中日友好医院開院20周年記念式典への役員派遣

期 間：2004年10月22日(金)～24日(日)

訪中者：齋藤 洋 副会長

清水喜八郎 副会長

小林秀資 常任理事

酒谷 薫 常任理事

比留間聡 事務局長

概 要：10月23日(土)午後5時30分から、北
京展覽館において記念レセプション、
記念式典が行われた。

式典には、日本から橋本龍太郎元内閣総
理大臣、阿南惟茂大使、吉永国光JICA
理事、協会役員等140名が出席した。

24日、小林・酒谷両常任理事が中日
友好医院を訪問した。

4) 中日友好医院院長との懇談

日 時：2005年2月16日(水) 12:40～15:30

場 所：学士会館 二色、311号室

出席者：

中日友好医院：

許 樹強 中日友好医院院長

劉 曉勤 中日友好医院副院長

尹 勇鉄 中日友好医院外事処長

陳 百煉 中日友好医院医師

協会：

森岡恭彦 理事長

小林秀資 常任理事

酒谷 薫 常任理事

比留間聡 事務局長

磯野真知子 業務課長

内 容：①短期専門家の派遣について

②長期研究者の受け入れについて

③日本人医療サービスセンター設置に
ついて

④中日友好医院東京事務所設置につ
いて

⑤同学会問題について

特に⑤については、学士会館での懇
談の後16:00以降笹川記念保健協力財
団に場所を移し、紀伊國理事長を交
えて懇談した。協会の出席者は、森
岡理事長・安達常任理事。

2. 日中大腸抗癌治療研究会に対する協力

日本及び中国での大腸癌に関する治療、特に各
種病態に応じた薬物療法を中心とする臨床研究に
対して協力した。

3. 「中医美容と健康」研究プロジェクト

資生堂(中国)研究開発中心有限公司が、中国国
内で実施する美容及び健康領域の研究に対する共
同(委託)研究プロジェクトの選考、評価に関する
業務について協力した。

・第2回評価委員会開催

日 時：2005年3月29日(火) 17:00～21:00

場 所：学士会館302号室

議 事：2004年度共同研究報告
2005年度共同研究先の選考

4. 学術交流に対する協力

1) 清華大学粒子線治療施設視察団の受入

期 間：2004年6月21日(月)～6月25日(金)

概 要：清華大学での導入を検討するため、日本における粒子線稼働施設を見学した。

構 成：岑 章志 清華大学副学長
左 煥琮 清華大学玉泉病院院長
胡 逸民 清華大学医学院院長助理・副研究員
王 曉浩 清華大学
精密機器・機械学部副主任
王 石 清華大学医学物理・工程研究所
常務副所長
于 殿文 清華大学玉泉病院弁公室副主任

2) 中国医科大学代表団の来訪

期 間：2004年11月17日(水)

概 要：浜松医科大学開学30周年記念式典出席のため趙群学長を団長とする訪日団が来日した。

同団は、協会の他、日本財団、日本科学協会、笹川記念保健協力財団を表敬訪問した。

また、順天堂大学に小川学長を訪ね、学長対談を行った。

構 成：趙 群 中国医科大学校長
(笹川第10期研究者)

何 欽成 中国医科大学副校長
李 厚文 中国医科大学元学長
才 越 中国医科大学国際交流処処長
姜 学鈞 中国医科大学教授
胡 鳳楠 中国医科大学医師

IV. 広報事業

1. 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第19巻1～6号を以下の通

り発行した。

第1号(2004年5月)

特集「中国の産婦人科の現状」

第2号(2004年7月)

特集「中国の矯正歯科事情」

第3号(2004年9月)

特集「日中笹川医学研究者制度研究者の帰国後の現状」

第4号(2004年11月)

特集「中国におけるリハビリテーションの現状」

第5号(2005年1月)

特集「日中の皮膚科交流について」

第6号(2005年3月)

特集「中国の病院経営について」

2. 「NEWS LETTER」の発行

協会の活動について広汎に周知しようと、事業をわかりやすく紹介する内容の機関紙「NEWS LETTER」が2003年に創刊された。今年度は、No. 3～No. 5が発行された。

No. 3 (2004年4月発行)

記事「中国の若い友人たちを迎えて」他

No. 4 (2004年9月発行)

記事「2005年度共同研究等助成金募集にあたって」他

No. 5 (2004年12月発行)

記事「中国衛生部黄潔夫副部長の講演会」他

3. ホームページの拡充

アドレス：<http://www.jpccnma.or.jp>

4. 「International Chinese Journal of Dentistry」

への協力

季刊誌「International Chinese Journal of Dentistry」Volume4 Issue2～Volume5 Issue1の発行について支援団体(Sponsoring Organization)として協力した。

5. 記念誌「日中医学協会20周年誌」の編集

財団法人日中医学協会設立20周年記念事業として、記念誌「日中医学協会20周年誌」を2005年に発行する。広報委員会が同記念誌の編集を担当し、準備活動を行った。

6. 委員会の開催

・第1回広報委員会

日 時：2004年6月22日(火) 18:30～20:30

場 所：学士会館311号室

出席者：委員長他委員4名

議 題：・副委員長の就任報告
・18巻6号、19巻1号、「NEWS LETTER」No.3の発行報告
・第19巻2～6号の掲載記事について
他

・第2回広報委員会

日 時：2004年10月12日(火) 18:30～20:30

場 所：学士会館309号室

出席者：委員長他委員5名 担当常任理事1名

議 題：・「日中医学」20巻1～6号の特集のテーマについて
・「NEWS LETTER」No.5の記事について

・第3回広報委員会

日 時：2004年10月25日(月) 18:30～20:00

場 所：協会事務所

出席者：委員長他委員3名

議 題：「協会20年誌」について

・第4回広報委員会

日 時：2004年12月7日(火) 18:30～20:30

場 所：学士会館310号室

出席者：委員長他委員4名 担当常任理事1名
Me-net

議 題：「協会20年誌」について

・第5回広報委員会

日 時：2005年2月1日(火) 18:30～20:30

場 所：学士会館309号室

出席者：委員長他委員3名 担当常任理事1名

議 題：・「日中医学」20巻の記事について
・「NEWS LETTER」No.6の記事について
・「協会20年誌」について

V. 事業基盤の強化・拡充

1. 「日中笹川医学研究者制度の18年」の発行

日中笹川医学研究者制度検討委員会(委員長：杉本恒明)は、2005年1月26日「日中笹川医学研究者制度の18年」を発行した。本書は、2003年に研究者、指導責任者、受け入れ機関、派遣機関に対し実施したアンケート調査結果、多数の関係資料を集録するとともに、アンケート結果に基づき、将来の本制度のあり方についても提案する内容となっている。

完成後、協会役員の他、日中両国の関係者、機関に送付した。

総務報告の部

I. 役員を選任について

1. 理事を選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、理事を選任。

①2004年5月31日第39回評議員会に於いて理事を選任

・就任 8名

安藤国威 (社)電子情報技術産業協会会長
井堂孝純 (社)日本歯科医師会会長
植松治雄 (社)日本医師会会長
宇野郁夫 (社)生命保険協会会長
高久史麿 日本医学会会長
西川善文 全国銀行協会会長
宮崎秀樹 (社)日本医師会副会長
森下洋一 (社)日本電機工業会会長

・辞任 5名

臼田貞雄 (社)日本歯科医師会会長
佐々木元 (社)電子情報技術産業協会会長
谷口一郎 (社)日本電機工業会会長
三木繁光 全国銀行協会会長
森田富治郎 (社)生命保険協会会長

②2004年9月6日臨時評議員会に於いて理事を選任

・就任 2名

武田國男 日本製薬団体連合会会長
工藤高史 (社)日本経済団体連合会国際経済本部長

・辞任 2名

藤山 朗 日本製薬団体連合会会長
永松恵一 (社)日本経済団体連合会常務理事

③2005年3月31日第40回評議員会に於いて理事を選任

・就任 前田晃伸 全国銀行協会会長

・辞任 西川善文 全国銀行協会会長

(交替日2005年4月19日)

・就任 梅田貞夫 (社)日本建設業団体連合会会長

・辞任 平島 治 (社)日本建設業団体連合会会長

(交替日2005年5月25日)

・就任 岡村 正 (社)電子情報技術産業協会会長

・辞任 安藤国威 (社)電子情報技術産業協会会長

(交替日2005年5月27日)

2. 評議員の選出

寄附行為第34条及び第19条に基づき評議員を選出

①2004年5月31日第39回理事会に於いて評議員を選出

・就任 5名

今井一洋 武蔵野大学薬学研究所所長
笹生俊一 国立病院機構宮城病院名誉院長
橋本信也 日本医師会常任理事
藤村 伸 日本医師会常任理事
水野 昇 岡崎国立共同研究機構生理学研究所所長

3. 名誉会員の退任

・死亡による退任

津山直一 日本肢体不自由児協会会長

II. 会員拡大と募金活動について

1. 会員数の推移

	04年3月 末現在	2004年度 入退会	05年3月 末現在
個人 会員	534名	入会39名 退会61名	512名
法人 会員	59社	入会1社 退会4社	56社
特別 会員	4社	入会0社 退会0社	4社

2. 募金活動

2004年度事業のための寄付金は以下の通り。

多くの法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した助成事業、医療協力事業、広報事業、学術会議開催等に充当した。

- ①団体・法人 ツムラ、日本医師会等
②個人 49名

Ⅲ. 協会運営に係る事項

1. 理事会・評議員会の開催

①第39回評議員会

日 時：2004年5月31日(月) 15:00～16:00
場 所：学士会館203号室
出席者：89名(委任出席74名)
議 題：理事選任の件

②第39回理事会

日 時：2004年5月31日(月) 15:00～16:00
場 所：学士会館203号室
出席者：36名(委任出席28名)
議 題：2003年度事業報告(案)の件
2003年度決算報告(案)の件
評議員選出の件他

③臨時評議員会

日 時：2004年9月6日(月) 16:00～17:00
場 所：日中医学協会事務所
出席者：97名(承諾書提出97名)
議 題：理事選任の件

④第40回評議員会

日 時：2005年3月31日(木) 15:00～16:00
場 所：学士会館320号室
出席者：98名(委任出席86名)
議 題：理事・監事選任の件

⑤第40回理事会

日 時：2005年3月31日(木) 15:00～16:00
場 所：学士会館320号室
出席者：41名(委任出席27名)
議 題：2005年度事業計画の件
2005年度収支予算の件他

2. 常任理事会の開催

①第188回常任理事会

日 時：2004年5月10日(月) 15:00～17:00
場 所：学士会館306号室
出席者：理事長他4名
議 題：理事会・評議員会議題案について他

②第189回常任理事会

日 時：2004年7月14日(水) 15:00～17:00
場 所：学士会館303号室
出席者：理事長他9名
議 題：担当常任理事について他

③第190回常任理事会

日 時：2004年9月27日(月) 15:00～17:00
場 所：学士会館303号室
出席者：理事長他8名
議 題：協会の財務状況について他

④第191回常任理事会

日 時：2004年12月14日(火) 16:30～18:30
場 所：学士会館310号室
出席者：理事長他7名
議 題：2005年度事業計画、予算について他

⑤第192回常任理事会

日 時：2005年2月28日(月) 15:00～17:00
場 所：学士会館311号室
出席者：理事長他9名
議 題：2005年度事業計画、予算について他

3. 各運営委員会の細則の決定

2004年3月30日に開催された第38回理事会において、財団法人日中医学協会運営委員会規程が成立した。

第188回常任理事会(2004年5月10日)は、同規程第6条に基づき、同第3条に定められた各運営委員会の細則(後掲)を決定した。

4. 各運営委員の委嘱（日中笹川医学研究者制度 関係を除く）

任期：2004年4月1日～2006年3月31日

①事業計画・財務委員

池谷田鶴子 順天堂大学医学部非常勤講師
小川秀興 順天堂大学理事長・学長
金井 浄 金井公認会計士事務所・公認会計士
齋藤洋一 大阪府済生会中津医療福祉センター総長
齋藤 洋 武蔵野大学薬学部教授
杉本恒明 公立学校共済組合関東中央病院名誉院長
平田 温 秋田組合総合病院診療部長

②共同研究等助成事業委員

委員長：
齋藤洋一 大阪府済生会中津医療福祉センター総長
委員：
石井裕正 慶應義塾大学名誉教授
稲葉 裕 順天堂大学医学部教授
今泉英明 今泉産婦人科院長
井廻道夫 昭和大学医学部教授
菊池晴彦 神戸市立中央市民病院院長
貴田嘉一 愛媛大学医学部教授
黒川 顕 日本医科大学付属第二病院院長
桜井芳明 仙台医療センター院長
常俊義三 宮崎医科大学名誉教授
鍋谷欣市 杏林大学名誉教授・昌平クリニック院長
早石 修 財団法人大阪バイオサイエンス研究所名誉所長
日暮 眞 東京家政大学教授
久道 茂 宮城県病院事業管理者
本庶 佑 京都大学医学研究科教授
前原忠行 順天堂大学医学部教授
吉倉 廣 国立感染症研究所名誉所長
小野瀬英雄 日本大学総合科学研究所教授
鴨井久一 日本歯科大学名誉教授
下野正基 日本歯科医学会総務理事
伊賀立二 国際医療福祉大学薬学部部長・日本薬剤師会副会長
糸川秀治 東京薬科大学名誉教授
荻原幸夫 名城大学薬学部教授

③広報委員

委員長：
荻原幸夫 名城大学薬学部教授
副委員長：
河野信博 介護老人保健施設ブルミエール施設長
委員：
池田 裕 磯子中央・脳神経外科病院副院長
池谷田鶴子 順天堂大学皮膚科非常勤講師
尾崎由基男 山梨大学大学院医学工学総合研究部教授
望月清志 東京歯科大学水道橋病院小児歯科講師

5. 日本財団の補助金について

2月25日、2004年度「日中医学学術交流促進」事業（協会助成事業）に対する日本財団補助金交付内定。

助成金額：15,000,000円

6. 特定公益増進法人について

2005年3月22日、認定年月日が平成17年3月26日（有効期間2年間）の下記認定証明書が厚生労働大臣より交付された。

「所得税法施行令第217条第1項第3号（ロ）及び法人税法施行令第77条第1項第3号（ロ）に掲げる公益の増進に著しく寄与する法人であることの証明書」

日中笹川医学研究者制度第27期研究者名簿(2004年 4月~2005年 3月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
熊 桜	中山大学腫瘍防治中心婦科主治医師	北海道大学大学院医学研究科生殖・発達医学(婦人科学)	櫻木範明 教授
縦 宇軒	中国人民解放军北京第309医院臨床薬理科主治医師	北海道大学大学院薬学研究科医療薬学	鎌滝哲也 教授
呉 静	中国人民解放军第四軍医学部西京医院消化内科主治医師	札幌医科大学医学部内科学第4	新津洋司郎 教授
李 貴東	哈爾濱医科大学附属第二医院手頭微外科医師	札幌医科大学医学部整形外科	山下敏彦 教授
周 馨麗	黒龍江省医院心臓内科ICU護師	青森県立保健大学健康科学部看護学科	中村恵子 学部長
陸 華保	北京博愛医院児童康復科副主任医師	東北大学大学院医学系研究科機能医科学(肢体不自由学)	出江紳一 教授
張 敏	河北省滄州中西医结合医院婦産科副主任医師	秋田大学医学部産科婦人科学	田中俊誠 教授
劉 飛	中国人民解放军第四軍医学部第一附属医院泌尿科医師	福島県立医科大学医学部泌尿器科学	山口 脩 教授
李 冰	中国医科大学公衆衛生学院労働衛生学教研室講師	筑波大学大学院人間総合科学研究科環境医学	熊谷嘉人 教授
楊 晶鑫	吉林大学日語培训中心講師	茨城大学文学部人文学科日本・中国文化論講座中国文化専攻コース	真柳 誠 教授
段 洪英	済南市伝染病医院2科住居医師	埼玉医科大学微生物学	赤塚俊隆 教授
黄 成日	延辺大学医学院附属産婦人科医師	埼玉医科大学産婦人科学	石原 理 教授
楊 俊峰	中国疾病予防控制中心免疫規画中心流行病学一室助理研究員	国立保健医療科学院技術評価部	丹後俊郎 部長
王海峰	上海中醫薬大学中医基礎理論助教	千葉大学大学院医学研究科分化制御学	徳久剛史 教授
李 虹	重慶医科大学附属第一医院肺科副主任医師	千葉県がんセンター呼吸器科	木梨秀樹 部長
魏 建華	中国人民解放军第四軍医学部口腔医学院顎面外科医師	東京歯科大学歯学部歯科理工学	小田 豊 教授
俞 芳	同済大学附属口腔医学院児童口腔科主治医師	東京歯科大学千葉病院小児歯科学	薬師寺仁 教授
李 智勇	武漢大学口腔医学院修復科医師	東京歯科大学千葉病院歯科補綴学第3	岸 正孝 教授
李 鉄軍	中国医科大学第二臨床学院循環内科主治医師	日本医科大学内科学第1	加藤貴雄 教授
魏 武	中国人民解放军南京軍区総医院泌尿外科主治医師	東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学(泌尿器外科学)	北村唯一 教授
項 燦宏	中日友好医院普通外科住居医師	東京大学大学院医学系研究科 臓器病態外科学(人口臓器・移植外科)	幕内雅敏 教授
康 宇華	河北省人民醫院康復科主治医師	東京大学大学院医学系研究科感覚・運動機能医学(リハビリテーション医学)	江藤文夫 教授
瞿 麗偉	上海市血液病中心中心弁公室助理研究員	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学	河原和夫 教授
侯 建林	北京疾病予防控制中心社会医学与衛生経済中心助理研究員	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療経済学	川原孝一 教授
吳 礼安	中国人民解放军第四軍医学部口腔医学院児童口腔科医師	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能育成学	高木裕三 教授
柳 順玉	首都医科大学附属北京婦産科産科主治医師	慶應義塾大学医学部産婦人科学	吉村泰典 教授
劉 偉	吉林大学第一医院胸外科主治医師	東京医科歯科大学外科学第1	加藤治文 教授
張 璋	南京市第一医院眼科住居医師	東京女子医科大学医学部眼科学	堀 貞夫 教授
光浩	黒龍江省牡丹江心血管医院心臓血管外科副主任医師	東京女子医科大学附属心臓血管外科学	黒澤博身 主任教授
鄭 美花	延辺大学医学院附属医院消化内科護師	東京女子医科大学看護学部	久田 満 教授
金 鋼	中国人民解放军第二軍医学部第一附属医院普通外科主治医師	杏林大学医学部第1外科学	跡見 裕 教授
林 凌	上海市胸科医院胸外科主治医師	国立がんセンター中央病院第一領域外来部肺科	浅村尚生 医長
尹 錦鉉	延辺腫瘍医院内視鏡室副主任医師	国立がんセンター中央病院内視鏡部	齊藤大三 部長
郭 彦君	中国医学科学院腫瘍医院放射線診断科副主任医師	国立がんセンター中央病院放射線診断部	森山紀之 学部長
王永友	蘇州大学附属第二医院普通外科住居医師	財団法人癌研究会附属病院消化器外科	山口俊晴 部長
施 学東	北京大学第一医院骨科主治医師	財団法人癌研究会附属病院整形外科	川口智義 部長
石 瑞如	河南省胸科医院中心実験室副主任薬師	財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌レファレンスセンター	菅原 勇 学部長
張 欣松	黒龍江省臨床検驗中心微生物科主管技師	横浜国立大学大学院医学研究科分子生体防御学	奥田研爾 学部長
周 艶娟	哈爾濱医科大学基礎医学院免疫教研室講師	東海大学医学部基礎医学系生体防御学	垣生園子 教授
洪 雲玉	延辺第二人民醫院内科主治医師	東海大学医学部基盤診療学系公衆衛生・社会医学	岡崎 勲 教授
鐘 愛民	江西省人民醫院腎臓内科副主任医師	東海大学総合医学研究所	斎藤 明 教授
潔 萍	上海交通大学附属第六人民醫院産科主治医師	新潟大学大学院医歯学総合研究科細胞機能	高桑好一 助教授
唐 新	中山大学附属口腔医学院口腔顎面外科主治医師	日本歯科大学新潟歯学部口腔外科学第2	又賀 泉 教授
周 翔	中国人民解放军第一軍医学部基礎生理生理学教研室副教授	金沢大学大学院医学系研究科血管病態制御学(血管分子遺伝学)	清水賢巳 助教授
郭 曉東	鄭州大学第一附属医院眼科護師	信州大学医学部保健科学看護学専攻	森田孝子 教授
方 曉東	新疆維吾爾医学高等专科学校科教研室講師	名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学	鍋島隆 教授
卞 傑勇	蘇州大学附属第一医院神経外科主治医師	藤田保健衛生大学医学部脳神経外科学	藤野哲夫 病院長
傅 剛	北京積水潭医院骨科主治医師	名城病院整形外科	川上紀明 部長
鴻雁	寧夏回族自治区医学院附属医院護理部主管護師	愛知県立看護大学	大島弓子 教授
余 文煜	吉林省人民醫院耳鼻咽喉科医師	三重大学医学部耳鼻咽喉科科学	間島雄一 教授
常 宝成	天津医科大学代辦病医院糖尿病・血管病科主治医師	京都大学大学院医学研究科内科学糖尿病・栄養内科学	山田祐一 助教授
蘇 琳	北京大学人民醫院老年科主治医師	京都大学大学院医学研究科内科学循環器内科学	北 徹 教授
謝 学軍	中国人民解放军第四軍医学部放射医学教研室講師	京都大学大学院医学研究科放射線医学(腫瘍放射線科学)	平岡真寛 教授
李 可洲	中国人民解放军成都軍区总医院解放军普通外科中心副主任医師	京都大学大学院医学研究科移植免疫医学	田中統一 教授
徐 冰	青島大学医学院附属医院産科主治医師	京都府立医科大学産婦人科学	本庄英雄 教授
高 曉慧	首都医科大学附属北京朝陽医院心臓中心主治医師	大阪市立大学大学院医学研究科循環器病態内科学(内科学第1)	吉川純一 教授
湯 瑩	同済大学医学院基礎医学院病理教研室講師	大阪大学大学院医学系研究科病理病態学(旧病理病態学)	青笹克之 教授
湯 地	中山医科大学附属第一医院肝胆外科主治医師	大阪大学大学院医学系研究科病態制御外科学(旧外科学第2)	門田守人 教授
劉 洪波	中国医学科学院北京協和病院骨科主治医師	大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学(旧整形外科)	吉川秀樹 教授
姜 彩輝	中国人民解放军総医院眼科主治医師	大阪大学大学院医学系研究科感覚器外科学(旧眼科学)	田野保雄 教授
袁 華	中国人民解放军第四軍医学部第一附属医院康復医学治療科医師	大阪大学大学院医学系研究科ポストゲノム疾患解析学(プロセッシング機能形態分)	遠山正彌 教授
陳 昕	中国医科大学附属第一医院心臓科助理研究員	国立循環器病センター病院専門外来部第1循環器科	中谷 敏 医長
殷 猛	上海第二医科大学附属上海児童医学中心心臓外科住居医師	国立循環器病センター臓器移植部	中谷武嗣 部長
俞 夢越	中国協和医科大学阜外心血管病医院心臓科主治医師	国立循環器病センター臨床検査部	羽尾裕之 医師
劉 崢	首都医科大学宣武医院神経内科主治医師	神戸大学大学院医学系研究科精神神経科学	保田 稔 講師
李 鵬高	首都医科大学公衆衛生与家庭医学院栄養与食品衛生学教研室講師	武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学	池田克巳 教授
延 正紅	吉林大学第二臨床学院児童保健講師	鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野	難波栄二 教授
張 潔	鄭州大学第一附属医院麻酔科医師	島根大学医学部麻酔学	齊藤洋司 教授
陳 洪	東南大学附属中大医院臨床医学院消化科副主任医師	広島大学大学院医学系総合研究科先進医療開発科学分子病態制御内科学	茶山一彰 教授
談 紅	中国人民解放军濟南軍区总医院心臓科副主任医師	山口大学医学部器官制御科学(内科学第2)	松崎益徳 教授
顔 芳	雲南省第一人民醫院産科主治医師	香川大学医学部母子科学周産期学婦人科学	高利之 教授
周 培	首都医科大学附属北京朝陽医院口腔科医師	高知大学医学部腫瘍病態学口腔腫瘍制御学	山本哲也 教授
孔 圓	開業(集団)有限責任公司医院血液内科主治医師	九州大学大学院医学研究科病態修復内科学	原田実根 教授
陳 光椿	中国人民解放军第二軍医学部病理生理学教研室講師	九州大学大学院医学研究科病態制御内科学	名 和 新 教授
趙 岩	遼寧省腫瘍医院胃科医師	九州大学大学院医学研究科消化器・総合外科学	前原喜彦 教授
晁 志	中国人民解放军第一軍医学部中薬教研室講師	九州大学大学院薬学研究科薬用資源制御学	正山征洋 教授
郭 英	中国人民解放军第四軍医学部病理学教研室助教	福岡大学医学部物理学	大島孝一 助教授
何 新繭	天津医科大学第二医院内科主治医師	福岡大学医学部内科学第4	渡辺憲太郎 助教授
朱 芳	遼寧省人民醫院循環内科主治医師	鹿児島大学大学院医学総合研究科循環器・呼吸器・代謝内科学(旧内科学第1)	鄭 忠和 教授

日中笹川医学研究者制度第13期特別研究者名簿(2002年4月～2003年3月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
研究テーマ			
戦 麗彬	大連医科大学附属第二臨床学院中医科主任医師	北海道大学大学院薬学研究科医療薬学	野村靖幸 教授
研究テーマ：脳神経変性疾患、老人性痴呆症、免疫相関の分子メカニズムとその予防と治療における中薬効果についての研究			
朴 紅梅	延辺大学医学院附属医院呼吸器内科講師	岩手医科大学医学部内科学第3	井上洋西 教授
研究テーマ：気管支喘息の発病機序、気管支喘息気道リモデリングとサイトカインに関する研究			
紀 新強	青島大学医学院附属医院婦産科教授	秋田大学医学部産科婦人科学	田中俊誠 教授
研究テーマ：PCRを用いた末梢血中の子宮体癌細胞の検出			
王 麗萍	中国医科大学第二臨床学院耳鼻咽喉科教授	国際医療福祉大学言語聴覚センター	新美成二 教授
研究テーマ：発声機能障害の評価及び治療について			
朱 長林	承德医学院附属医院兒科副教授	千葉大学大学院医学研究院環境影響生化学	鈴木信夫 教授
研究テーマ：大気汚染物と小児疾病における研究			
施 旺紅	中国人民解放軍第四軍医大学航空航天医学系心理学教研室副教授	東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科	中村 敬助教授
研究テーマ：日中の森田療法に関する比較研究			
戴 維	衛生部国際合作司双边関係処項目官員	早稲田大学大学院公共経営研究科	江上能義 教授
研究テーマ：日本のODAプロジェクトのマネジメント			
張 世俊	中国人民解放軍第三〇五医院老年病中心実験室主管技師	金沢大学がん研究所腫瘍分子科学	村上清史 教授
研究テーマ：細胞老化に関わるテロメラーゼの機能とその修飾			
齊 社寧	蘭州医学院組織学与胚胎学教研室副研究员	福井大学医学部病態制御医学内科学(1)	吉田 明 講師
研究テーマ：GP7による人白血病のアポトーシス誘導の分子生物学的研究			
劉 紅剛	首都医科大学附属北京同仁医院病理科主任医師	信州大学医学部病態解析診断学	勝山 努 教授
研究テーマ：1)塵埃細胞内の顆粒状物質及びサルコイドーシスとの関係に関する研究 2)肝移植肝穿刺診断病理			
陸 紹紅	浙江省医学科学院寄生虫病研究所免疫生化学室副研究员	名古屋市立大学大学院医学研究科感染生体防御学(宿主・寄生体関係学)	太田伸生 教授
研究テーマ：Study on molecular biology and molecular of Parasitic Diseases			
楊 春霞	四川大学華西公共衛生学院流行病学教研室副教授	愛知県がんセンター研究所疫学・予防部	田島和雄 部長
研究テーマ：消化管がんの要因探索と予防			
崔 黎麗	中国人民解放軍第二軍医大学薬学系無機(物化)教研室副教授	京都薬科大学薬学部薬物動態学	芝田信人助教授
研究テーマ：一酸化窒素(NO)の電気化学的発生とその皮膚透過および皮膚への生理作用に関する研究			
朱 紅	黒龍江省医院物理診断科彩超室主任医師	大阪市立大学大学院医学研究科循環器病態内科学(内科学第1)	吉川純一 教授
研究テーマ：冠動脈血管再建術後における冠予備能に関する研究—経冠脈内ガイドワイヤドップラーと経食道心エコーによる対比分析—			
黄 紅蘭	吉林大学基礎医学院病原生物学教研室講師	大阪大学大学院医学系研究科微生物学(旧細菌学)	山西弘一 教授
研究テーマ：ヒトヘルペスウイルス6の分子生物学的研究			
石 軍	上海市第六人民医院血液内科副主任医師	岡山大学大学院歯学総合研究科血液・腫瘍・呼吸器内科学(旧内科学第2)	谷本光音 教授
研究テーマ：活性化された樹状細胞による造血移植片中の残存腫瘍細胞の除去			
孫 洪涛	内蒙古民族大学附属医院心血管内科副教授	九州大学大学院医学研究院循環器内科学	下川宏明助教授
研究テーマ：虚血性心臓病診断治療に関する臨床的研究(冠循環、特に微小循環調節の研究)			
李 芸星	中国疾病予防控制中心副研究员	(社)北部農林高等学校後援会附属生物資源利用研究所	根路銘国昭所長
研究テーマ：インフルエンザ及びパラミクソウイルスの分子疫学に関する研究			

運営委員会規程・各委員会細則

・財団法人日中医学協会運営委員会規程

- 第1条 この規程は、財団法人日中医学協会(以下、本会与略記)寄附行為第33条に基づき設置する運営委員会に対し適用する。
- 第2条 本会に、本会の事業を円滑に遂行するため、運営委員会を設置することができる。
- 2 運営委員会は、常設の運営委員会と臨時の運営委員会からなる。
- 第3条 本会に以下の常設の運営委員会を設置する。
- 事業計画・財務委員会
 - 共同研究等助成事業委員会
 - 広報委員会
- 2 本会に以下の臨時の運営委員会を設置する。
- 中国医学研究者委員会
 - 特別研究者選考委員会
 - 日中笹川医学研究者制度検討委員会
- 第4条 委員会の委員長及び委員は、理事会の議を経て、理事長が委嘱する。
- 第5条 委員長及び委員の任期は、2年とする。ただし、3期を限度に再任されることができる。
- 2 補欠又は増員により選任された委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 第6条 委員会は、この規程に定められたことのほかは、常任理事会の承認によって決定された運営委員会細則にしたがって運営する。
- 2 運営委員会細則は、常任理事会によって変更することができる。
- 第7条 この規則は、理事会の議決によって変更することができる。
- 第8条 この規則は、理事会の議決によって廃止することができる。
- 附 則
- 1 この規程は、2004年4月1日より施行する。

・事業計画・財務委員会細則

- 第1条 この委員会は、事業計画・財務委員会(以下「委員会」という。
- 第2条 委員会は、財団法人日中医学協会(以下「本会」)運営委員会規程に定められたことのほかは、この細則によって運営する。
- 第3条 委員会は、本会の事業計画、会計及び財務に関する業務を所管し、本会の円滑な運営に資することを目的とする。
- 第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、理事会の諮問に応じ、次の業務を行う。
- (1)本会の事業計画原案及びこれに伴う収支予算原案の編成
 - (2)本会の収支決算原案の作成
 - (3)理事会、評議員会の権限に属する事項を除くその他の会計及び財務に関する事項の議決及び執行
 - (4)その他前条の目的を達成するために必要な業務
- 第5条 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
- 2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
- 3 委員長は、委員の中から指名によって副委員長を委嘱することができる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 委員は、委員長とともに委員会を組織し、委員会の業務を執行する。
- 第6条 委員会は、会議の目的とする事項を示して、委員長が招集する。
- 2 委員会の議長は、委員長とする。
- 第7条 委員会は、委員会構成員現在数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、当該議事について文書をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 2 委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 本会の役員は、委員会に出席して意見を述べることができる。
- 第8条 この細則は、委員会の議決を経、かつ、常任理事会の承認を受けて変更することができる。
- 附 則
- 1 この細則は、2004年4月1日から施行する。

・共同研究等助成事業委員会細則

- 第1条 この委員会は、共同研究等助成事業委員会(以下「委員会」という。
- 第2条 委員会は、財団法人日中医学協会(以下「本会」)運営委員会規程に定められたことのほかは、この細則によって運営する。
- 第3条 委員会は、本会が行う学术交流及び共同研究等研究助成事業に関する業務を所管し、本会事業の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、理事会の諮問に応じ、次の業務を行う。
(1)研究助成の対象者の選考
(2)研究助成事業計画の方針策定
(3)その他前条の目的を達成するために必要な業務
- 第5条 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
3 委員長は、委員の中から指名によって副委員長を委嘱することができる。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
5 委員は、委員長とともに委員会を組織し、委員会の業務を執行する。
- 第6条 委員会は、会議の目的とする事項を示して、委員長が招集する。
2 委員会の議長は、委員長とする。
- 第7条 委員会は、委員会構成員現在数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、当該議事について文書をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
2 委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3 本会の役員は、委員会に出席して意見を述べることができる。
- 第8条 この細則は、委員会の議決を経、かつ、常任理事会の承認を受けて変更することができる。
- 附 則
1 この細則は、2004年4月1日から施行する。

・広報委員会細則

- 第1条 この委員会は、広報委員会(以下「委員会」という。
- 第2条 委員会は、財団法人日中医学協会(以下「本会」)運営委員会規程に定められたことのほかは、この細則によって運営する。
- 第3条 委員会は、本会の機関誌及びその他出版物等の編集に関する業務を所管し、本会事業の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、常任理事会の諮問に応じ、次の業務を行う。
(1)本会機関誌及びその他出版物等の編集
(2)前号に掲げる出版物の掲載規定に関する業務
(3)その他前条の目的を達成するために必要な業務
- 第5条 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
3 委員長は、委員の中から指名によって副委員長を委嘱することができる。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
5 委員は、委員長とともに委員会を組織し、委員会の業務を執行する。
- 第6条 委員会は、会議の目的とする事項を示して、委員長が招集する。
2 委員会の議長は、委員長とする。
- 第7条 委員会は、委員会構成員現在数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、当該議事について文書をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
2 委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3 本会の役員は、委員会に出席して意見を述べることができる。
- 第8条 この細則は、委員会の議決を経、かつ、常任理事会の承認を受けて変更することができる。
- 附 則
1 この細則は、2004年4月1日から施行する。

・中国医学研究者委員会細則

- 第1条 この委員会は、中国医学研究者委員会(以下「委員会」という。
- 第2条 委員会は、財団法人日中医学協会(以下「本会」)運営委員会規程に定められたことのほかは、この細則によって運営する。
- 第3条 委員会は、日中笹川医学研究者制度研究者の選考に関する業務を所管し、本会事業の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、理事会の諮問に応じ、次の業務を行う。
(1)研究者の選考
(2)受入機関への依頼及び連絡、調整
(3)笹川研究者の日本での研究成果に対する評価
(4)その他前条の目的を達成するために必要な業務
- 第5条 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
3 委員長は、委員の中から指名によって副委員長を委嘱することができる。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
5 委員は、委員長とともに委員会を組織し、委員会の業務を執行する。
- 第6条 委員会は、会議の目的とする事項を示して、委員長が招集する。
2 委員会の議長は、委員長とする。
- 第7条 委員会は、委員会構成員現在数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、当該議事について文書をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
2 委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3 本会の役員は、委員会に出席して意見を述べることができる。
- 第8条 この細則は、委員会の議決を経、かつ、常任理事会の承認を受けて変更することができる。
- 附 則
1 この細則は、2004年4月1日から施行する。

・特別研究者選考委員会細則

- 第1条 この委員会は、特別研究者選考委員会(以下「委員会」という。
- 第2条 委員会は、財団法人日中医学協会(以下「本会」)運営委員会規程に定められたことのほかは、この細則によって運営する。
- 第3条 委員会は、日中笹川医学研究者制度特別研究者の選考に関する業務を所管し、本会事業の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、理事会の諮問に応じ、次の業務を行う。
(1)特別研究者の選考
(2)受入機関への依頼及び連絡、調整
(3)特別研究者の日本での研究成果に対する評価
(4)その他前条の目的を達成するために必要な業務
- 第5条 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
3 委員長は、委員の中から指名によって副委員長を委嘱することができる。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
5 委員は、委員長とともに委員会を組織し、委員会の業務を執行する。
- 第6条 委員会は、会議の目的とする事項を示して、委員長が招集する。
2 委員会の議長は、委員長とする。
- 第7条 委員会は、委員会構成員現在数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、当該議事について文書をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
2 委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3 本会の役員は、委員会に出席して意見を述べることができる。
- 第8条 この細則は、委員会の議決を経、かつ、常任理事会の承認を受けて変更することができる。
- 附 則
1 この細則は、2004年4月1日から施行する。

・日中笹川医学研究者制度検討委員会細則

- 第1条 この委員会は、日中笹川医学研究者制度検討委員会(以下「委員会」という。
- 第2条 委員会は、財団法人日中医学協会(以下「本会」)運営委員会規程に定められたことのほかは、この細則によって運営する。
- 第3条 委員会は、日中笹川医学研究者制度全般の評価に関する業務を所管し、本会事業の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、理事会の諮問に応じ、次の業務を行う。
(1)研究者制度全般に対する評価
(2)特別研究者制度全般に対する評価
(3)その他前条の目的を達成するために必要な業務
- 第5条 委員会は、委員長及び委員をもって構成する。
2 委員長は、委員会を代表し、委員会の業務を統括する。
3 委員長は、委員の中から指名によって副委員長を委嘱することができる。
4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
5 委員は、委員長とともに委員会を組織し、委員会の業務を執行する。
- 第6条 委員会は、会議の目的とする事項を示して、委員長が招集する。
2 委員会の議長は、委員長とする。
- 第7条 委員会は、委員会構成員現在数の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、当該議事について文書をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
2 委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3 本会の役員は、委員会に出席して意見を述べることができる。
- 第8条 この細則は、委員会の議決を経、かつ、常任理事会の承認を受けて変更することができる。
- 附 則
1 この細則は、2004年4月1日から施行する。

監査報告書

2004年4月1日より2005年3月31日までの事業について、記録に基づき監査いたしました。

その結果、当期に実施した事業が寄付行為に基づいて適正に行われたことを確認しました。

2005年 5月27日

監 事



公認会計士

監 事



監 事



2004年度事業報告
財団法人日中医学協会
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町11-2
TEL 03-3291-9161
FAX 03-3291-9164
発行日 2005年5月
発行人 森岡恭彦